

本学におけるノートパソコンの利用と 東京工科大学オリジナル推奨モデルのご案内

東京工科大学 蒲田キャンパス 医療保健学部

本学ではノートパソコンを必須とした講義、演習を行っています。また、学生生活においてもノートパソコンを活用しています。

そこで本学では、医療保健学部の新入生に対し、講義・演習用に検討したノートパソコンの推奨をしています。推奨するノートパソコン（以下、推奨ノートパソコン）は、複数のメーカーの機種から選定し、表 1 の機種となりました。

表 1 2025 年度 東京工科大学 オリジナル推奨モデルの仕様

メーカー	エムエスアイコンコンピュータージャパン株式会社	
機種名	Prestige 13 A13M 東京工科大学オリジナル推奨モデル	
仕 様	CPU	Core i5-1334U(13 世代 CPU)
	メモリ	16 GB
	SSD	512 GB
	ディスプレイ	13.3 型 WUXGA(1920×1200) タッチ機能なし
	OS	Windows 11 Pro
	バッテリー	最大 10 時間(JEITA 3.0 動画再生時) 最大 20 時間(JEITA 3.0 アイドル時)
	ポート	Thunderbolt 4 Type-C (USB PD 対応) ×2 USB3.2 Gen1 Type-A ×1
	重量	約 990g

<既に所有しているノートパソコンを利用する場合>

既にお持ちのノートパソコンを利用する場合、

「表 1 2025年度東京工科大学 オリジナル推奨モデルの仕様」と大きく異なる場合には、講義、演習の際に支障が出る恐れがあります。後述の「[推奨ノートパソコンを購入しない場合](#)」を必ずご参照ください。また、「[よくある質問事項](#)」も併せてお読みください。

【重要】＜有隣堂 PC サポートサービスについて（全新入生の入会が必須です）＞

本学は、有隣堂蒲田キャンパス店と連携し、大学内でのノートパソコン利用時の故障や使用方法等、様々な問題の相談窓口を運営しております。

学生の皆様が、円滑に大学生活をお送りできるよう、本学の推奨ノートパソコンを購入される方、既にお持ちのノートパソコンを利用される方に関わらず、**有隣堂PCサポートサービスへの入会を必須**としています。

つきましては、「表2 2025年度有隣堂 PC サポートサービスに対するサポート内容」の項目、および、別添の「ノート PC に関する有隣堂からのご案内」を併せてご一読ください。

表2 2025年度有隣堂 PC サポートサービスに対するサポート内容

内 容	※全員、入会必須です 有隣堂 蒲田キャンパス店で以下のサポートを提供します。 ・推奨ノートパソコンの修理受付 (非推奨ノートパソコンをお使いの方は、ご相談を受け付けます) ・パソコンの故障、修理時の代替機の貸し出し ・パソコン不調時の原因特定や操作に困ったときの相談やアドバイス ・初期状態への復旧などのサービス ・その他、大学と連携してソフトのインストールサービス
期 間	4年間（在学期間中）
入会料	14,300円（税込）

＜大学ご入学後のノートパソコン活用に向けて＞

ノートパソコンを講義、演習、実験、その他の日常生活の様々な局面で利用します。

主な内容は、文書閲覧・作成、情報収集・出席確認・レポート提出のためのインターネットアクセスなどです。

授業は原則として Windows 環境を前提として行います。

日常的にパソコンに触れる機会がないか、ごく少ない場合には、家庭で所有しているパソコンや学校・図書館で使えるパソコンなどで慣れておくことを推奨します。

特にキーボードからの入力（タイピング）についてはその速度がパソコンを用いた学習効率に直結するので、事前にトレーニングをしておくと、入学後の導入教育への適応が容易になると期待できます。

タイピング練習ソフトウェアを使う、あるいは紙の上でアルファベットのキー配置を覚えるだけでも、大きな効果が期待できます。

また、本学では講義サポートシステムを導入しており、一部リモート講義があります。

ご自宅にネットワーク環境がないと、その講義の視聴や必要事項の伝達、メールや講義サポートシステムを介しての課題提出等に大きな支障をきたすことがあります。そのため、有線、無線問わず、ネットワーク環境を有していることが必要になります。

【推奨ノートパソコンを購入しない場合】

どの学科でもノートパソコンを使う授業では、以下の2点を前提にしています。

- ・Windows11がインストールされていること
- ・キーボードは日本語仕様であること

ただし、いずれかのバージョンの Windows がインストールされていて、必要スペックを満たしていれば、本学とマイクロソフト社との契約に基づいて、**Windows および Office のインストールが可能**です。

別途購入する必要はなく、在学中は無償で利用できますが、この場合、事前に以下のことを確認してください。

- ・Windows11がインストール可能である。
- ・画面解像度の変更やネットワーク（無線 LAN）の利用が可能である。
- ・インストールによりノートパソコン内にある全てのデータが消失してもよい状態にしておく。

この他に、アンチウイルスソフトを本学との契約により、本学の学生は無償でインストールして使用できます。

これらのソフトウェアの他に、授業資料の保存や作業のための容量も合わせて考えると、50GB 以上の空き容量が目安になります。PC のスペックとしては全体で256GB 程度の記憶容量を持つ PC が良いでしょう。

よくある質問事項

Q1. タブレットパソコンが推奨ノートパソコンよりも安く市販されていますが、これらのタブレットを使うことはできないのでしょうか？

A1. 現在、タブレットとして市販されているパソコンの多くは、その処理能力が推奨ノートパソコンよりも劣るものになっているのでお薦めしません。

また、安価なタブレットの多くはディスプレイサイズが8～10インチ程度です。

演習等の授業では様々なソフトウェアを使うことや、教育スタッフと画面を一緒に見ることがあります。

よって、12インチ程度かそれ以上ないとこれらが困難になり、教育に支障が出る場合があります。

自己責任において使用する場合、キーボード付き Windows タブレットパソコンにしてください。

Q2. 既にノートパソコンを持っているのですが、これでも大丈夫でしょうか？

A2. どのようなノートパソコンでも「これで絶対大丈夫！」という保証はできません。

推奨ノートパソコンの仕様を参考にしてください。

Q3. Mac あるいは古いバージョンの Windows ノートパソコンを持っているのですが、これでは講義に差し支えありますか？

A3. 実際の講義では Windows11 を前提に行います。

講義のために Windows11 に加え、もともとノートパソコンに入っている OS（Mac OS または古い Windows）の操作、設定に精通していないと対応が困難であると考えられます。

Apple 製のノート PC を利用する場合、Windows をインストールしてあってもトラブルが起こる可能性があります。その場合、大学では対応できませんのでその時だけ別の PC を用意するなど自身で対処する必要があります。

Q4. 別のノートパソコンを事前に購入しようと思っているのですが、問題ありませんか？

A4. 【推奨ノートパソコンを購入しない場合】をよく読んで検討してください。

Q5. 事前にソフトウェアを購入して勉強をしたいと思っているのですが、何を購入したらよいでしょうか？

A5. 必要なソフトウェアのほとんどについては本学では、学生が無償で利用可能となる、いくつかのソフトウェア会社と利用契約を結んでおります。

また学生が利用できる環境を用意しているのでソフトウェアの購入は必要ありません。

ただし、タイピングに不慣れな場合、タイピング練習ソフトウェアで練習することは、事前学習として効果が期待できます。

Q6. 所有しているノートパソコンが古く、バッテリーの消耗が早いのですが、教室にコンセントはありますか。

A6. 主に演習授業で使用する3号館11階の演習室には、座席ごとに電源タップがあります。

それ以外の教室・講義室は限られた数しかありません。

バッテリーを交換する、もしくは、新しいノートパソコンの購入を検討された方が良いでしょう。

【本資料に対するお問い合わせ先】

東京工科大学

蒲田キャンパス 事務局 学務課

TEL：03-6424-2116（直通）

取扱時間 9：00～17：00（月～金）